令和２年度学校だより　学校教育目標「せいいっぱい　きたえ　のびよう　東っ子」

東白川小だより

令和２年１２月２５日（金）NO.10

２学期 91 日終了に感謝

東白川小学校長　　伊佐治　晃

本日、令和２年度の２学期終業式を迎えることができました。保護者の皆様、地域の皆様には、コロナウイルス感染症への対応もあり例年以上のご協力をお願いすることになりましたが、どれに対しても快くご理解、ご協力いただきましたこと感謝しております。

さて、本日無事終業式を迎えましたが、式の中で、子供たちにはいくつかの数字を示しながら話をしました。同じように数字を並べてみます。さて、何を表しているでしょうか。

56　これは４月からここまでの欠席者「０人」、つまり全員出席の日数です。実は、昨年度は１年間で 55 日でした。56 という数字は 12 月末現在の日数ですから今年は全員出席の日数が非常に多いことが分かります。コロナウイルス感染症により、４月５月が臨時休業になったわけですが、子供たちが元気に生活を送ることができたことがここからも分かります。これは、ひとえに各ご家庭でのご努力のおかげだと思います。本当にありがとうございました。

423　さて、何を表す数字でしょうか。実は、10 月 30 日発行の学校便り(No.8)でも紹介させていただいた「がんばったえんぴつ」のここまでの合計本数です。今日も「がんばったえんぴつ、もってきたよ」と１年生の子が校長室にやってきました。「よくがんばったね。」「たくさん勉強したんだね。」とたくさんの子に声をかけることができました。最後まで使い切ることの大切さ、こつこつと努力することの大切さを感じ、これからも続けてくれることを期待します。

7　令和２年度は残すところ、２学期最終日を含めて７日となりました。８日後には令和３年を迎えます。

12 月 14 日に今年の漢字が発表されました。**「密」**まあ、予想通りというか、仕方ないかなという漢字でした。「三密」という言葉は、社会はもちろん学校でもよく使われ、多分子供たち全員が知っている言葉です。

「今年の漢字」は 12 月 14 日に清水寺で揮毫(きごう)により発表されたわけですが、この漢字は全国から応募された中(今年でいえば 208,025 票)から、選ばれます。実をいうと、６年生のみんなは、修学旅行で清水寺に行ったときに、この応募箱を見つけ、応募していました。「何がいいかな」と考える中で、「密」や「災」という字もやはり出ました。でも、こういうときだからこそ、この先に向けた希望の字がよいのではないかと考え、学級目標でもある「**超**(える)」を応募しました。**「とっても大変なことだけど、みんなで協力してコロナを乗り超えようよ」**という願いを込めました。「その通りだ。ぴったりだ！」声を出しました。

７日後からの令和３年。まだコロナウイルス感染症への心配が消えるわけではないでしょう。でも、乗り越えるしかないのです。子供たちも対応しながら、それでも元気一杯生活しています。みんなで心を一つにし、乗り越えていきたいです。来年度もご協力よろしくお願いいたします。それでは、よいお年をお迎えください。